

安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

警告

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 煙が出ている。発熱している、へんな臭いがあるなどの異常が発生した場合は、ただちにレシーバーをパソコンから外し、最寄りのキヤノンMJサービスセンターにご連絡ください。
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本体が破損した場合は、最寄りのキヤノンMJサービスセンターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一、口に入った場合はすぐにうがいをし、医師と相談してください。また、もし液晶が手や衣服などに付着した場合は、直ちに石鹸で洗い流してください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 分解しない。
 - ・ 加熱しない、火の中に投入しない。
 - ・ 充電しない。本機に使用しているボタン電池を取り外した場合は、子供がボタン電池を誤って飲むことがないようにしてください。また、電池は幼児の手が届かないところに置いてください。万一、子供が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師と相談してください。

注意

取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- くらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重い物を載せないでください。置いた物が倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物（金属片）が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、最寄りのキヤノンMJサービスセンターにご連絡ください。

電池

● 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ・ 指定以外の電池は使用しない。
- ・ 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる。
- ・ 長時間使用しない時は、本機から電池を取り外しておく。

この装置は、情報処理装置等電圧障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お願いとご注意

- ・ 計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- ・ 液晶表示部はガラスでできていますので強く押さないでください。
- ・ 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなる場合がありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

本体裏面のRESETボタン

計算中にすべてのキーの機能が働かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面のRESETボタンを先端の細いもので押してください。
*RESET後は再度税率を設定し直してください。

電源

本機は、太陽電池とリチウム電池及び乾電池の3電源を併用しております。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池またはリチウム電池、乾電池に切り替わりますので、照度の弱い所でもご利用いただけます。
* 寿命や消費などリチウム電池（約3年）を交換する場合は、お近くの営業所またはサービスセンターに電池交換をご依頼ください。
● 本機は約7分間動作を行いますと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます（オートパワーオフ機能）。この場合は電源キーを押せば、再び電源が入ります。

電池の入れ方

（使用電池：単3形乾電池X2本）

- 1) 本体裏面の電池カバーを外します。
- 2) マイナス（-）極側から順に新しい電池を2本入れます。
- 3) 蓋に電池カバーを取り付けます。

* 乾電池無しで使用した場合、動作が不安定になる場合がありますので、必ず乾電池を入れた状態でご利用ください。

電池交換

本機は電池容量が不足すると、画面に「」アイコンが点灯します。この場合、正常な動作を続けるため速やかに乾電池を交換してください。

* 使用済み電池は、+極と-極をテープで巻いてから、お住まいの地域の集積場と廃棄基準に従って廃棄してください。

電池交換後は必ず本体裏面のRESETボタンを押し、再度税率を設定し直してください。

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター

（全国共通番号）050-555-99088

〔受付時間〕 9:00 ~ 18:00
（日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

製品取扱い方法で相談窓口

キヤノンお客様相談センター

（全国共通番号）050-555-90025

〔受付時間〕 平日 9:00 ~ 20:00
土・日・祝日 10:00 ~ 17:00
（1月1日~1月3日は休ませていただきます）

*上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632をご利用ください。
*お電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
*上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2007年6月1日現在
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

Canon KS-120TKR II 使用説明書

保証規定

1. 使用説明書、本機注意事項などの注書きに基づいた正常な使用状態で保証期間中に、万一故障した場合は、本保証書に本製品に添付のうえ、表記の販売店または弊社までご持参あるいはお送りいただければ、無料修理または機械交換を行います。なお、この場合の交通費、送料および諸掛りはお客様の負担となりますので、予めご了承ください。
 2. 保証期間中で次の場合は有料修理となります。
 - (1) 取扱いの不注意、誤用による故障および損傷（表示画面のクラック等）
 - (2) 不適切な移動、落下等による故障および損傷
 - (3) 表記の販売店または弊社以外での修理、改造による故障および損傷
 - (4) キヤノン製以外の消耗品や部品の使用に起因して生じた本機の故障、故障および損傷
 - (5) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (6) 本保証書の提示がない場合
 - (7) 本保証書お買上日より、お客様名、販売店名の記入のない場合
 - (8) 本保証書に記述のない文字を書き換えられた場合
 - (9) 接続している他の機器に起因して故障が生じた場合
 3. お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするため、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用していただきます。なお、故障状況により商品交換方式を採用させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
 4. 消耗品類は、本保証書による保証の対象とはなりません。
 5. 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害については、弊社ではその責任を負いませんので、ご了承ください。
 6. 転居、譲り受け、贈答等の場合表記の販売店に修理を依頼できない場合は、弊社にお問合せください。
 7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 8. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- * 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これにより弊社及び弊社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
* 保証期間経過後は弊社規定の修理・交換料金を申し受けます。
* 保証内容や修理のお問い合わせは、弊社修理窓口までお問い合わせください。
- © CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2006
PUB. E-J-1026 ● PRINTED IN CHINA

2つのモードが選べます

本機には、通常の電卓として使用する計算モードと、テンキーとして使用するPC入力モードの2つのモードがあります。本体とレシーバーとの接続が確立している際には、キーを使って、2つのモードを切り替えることができます（接続が確立していない場合は、計算モードのみ使用できます）。

計算モード

計算モードにした際には、電卓としての機能がそのまま使えます。また、計算結果をパソコンに送信することができます。

電源オン/クリアオールキー

電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めた全ての計算をクリアします（税率はクリアされません）。

入力訂正キー

入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。2回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます（メモリ計算の内容はクリアされません）。

小数点桁指定キー

演算結果の小数点以下の桁数を指定するキーです。指定位置は、小数点以下0、2、3桁、F（浮動小数点）です。キーの後にキーを長押し（2秒以上）すると、F→0→2→3→Fの順に表示が変わります（キーを押し続けると表示が自動的に上記の順に変わります）。

パーセント、プラス、マイナスキー

パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います。

税率設定・税込み計算キー

税率の設定、税込み計算を行う時に使うキーです。あらかじめ計算したい税率を設定することができ、設定した税率で税込み計算を行うことができます。

税率確認・税抜き計算キー

税率の確認、税抜き計算を行う時に使うキーです。キーの後にこのキーを1回押すと、設定した税率が表示されます。また、設定した税率で税抜き計算を行うことができます。

バックスペースキー

表示された数値を1桁ずつすらし最下位桁をクリアするキーです。誤って入力した時に、1桁ずつ訂正することができます。

メモリ計算

M+メモリプラスイコールキー：数値または演算結果をメモリに加算する時に使います。

M-メモリマイナスイコールキー：数値または演算結果をメモリから引く時に使います。

リコールメモリ/クリアメモリキー：1回押すと、メモリ内の数値を呼び出します。続けて2回押すと、メモリ内の数値をクリアします。

PC関連キー

PC/計算モード切替えキー：PC入力モードとして使用する場合と、通常の電卓として使用する場合を、このキーで切り替えます。

送信キー：計算結果をパソコンに送信する時に使います。

計算結果の送信方法

計算結果がディスプレイ画面に表示された状態で、を押します。

- * パソコンと接続していない時は、キーは無効となります。
- * 計算結果を送信中に、キーを押しても無効となります。
- * 送信できるのは数値のみで、3桁位取りマークやM（メモリ）、=などの計算状態表示シンボルは送信できません。
- * エラー中（Eシンボル点灯）は送信できません。
- * 税率設定中は送信できません。
- * レシーバーがしっかり接続されていないなどの問題があった場合には、データが正しく送信されません。この場合には、接続を確認し再度キーを押してください。

◆計算を始める前に、必ずキーを押してください。
◆小数点以下の桁数はF（浮動小数点）に設定してあります。

計算例	操作	表示
140 - 25 + 22 = 137		(137.)
2 x 2 3 = 6		(6.)
-152 x 98 9 = -53		(-53.)
9.5x3.27-1=11.76		(11.76)
(2.4)-3x8.1=16.2		(16.2)
4 ³ = 64		(64.)
逆数計算		(0.5)
定数計算		(5.) (7.) (-1.) (0.) (6.) (8.) (3.)
パーセント計算①	300 x 27 = 81	(81.)
パーセント計算②	11.2 ÷ 56 = 20	(20.)
割増し計算	1,200(1,200 x 17.5%) = 1,410	(1,410.)
割引き計算	1,200(1,200 x 17.5%) = 990	(990.)

税計算

計算例	操作	表示
税率の設定		(税 5.)
確認		(税 5.)
税抜計算	税込表示額2,000円の場合の税抜額/税額を求めます。(税率5%)	
税抜額 = ?	2000	(税 2,100.)
税額 = ?		(税 100.)
税抜き計算	税込表示額3,150円の場合の税抜額/税額を求めます。(税率5%)	
税抜額 = ?	3150	(税 3,000.)
税額 = ?		(税 150.)

◆ キーを押すごとに、金額-税抜額/税額-税額の順に表示されます。

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の演算を停止します。オーバーフローはキーを押して解除してください。

(1) 演算結果の整数部が12桁を超えた場合
演算結果は上位12桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数え、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作 / 表示
123,456,789,012 x 10,000	123456789012 10000
= 1,234,567,890,120,000	(E 1,234.56789012)

(2) メモリ内容の整数部が12桁を超えた場合(Mが押されます)
メモリがオーバーフローしたときはキーを続けて押せばオーバーフローする直前のメモリ内容を読み出すことができます。

操作	表示
333333333333	(M 999'999'999.)
123	(M 1.0000005608)
	(M 1.0000005608)
	(M 999'999'999.)

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

(3) 除数が0の除算を行った場合

操作	表示
200 0	(E 0.)

仕様

型式：キヤノン【KS-120TKR II】
表示：液晶表示12桁
演算桁数：整数、被演算数/演算数12桁倍率：上位桁毎12桁
使用温度範囲：0℃~40℃
チャネル数：2チャンネル
周波数：2.7MHz
動作距離：約1m
※レシーバー（設置環境により異なります）
◆改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

外形寸法：本体：155mm(奥行)X96mm(幅)X43mm(高さ)
レシーバー：22mm(奥行)X65.5mm(幅)X12.3mm(高さ)
重量：本体：160.5g (乾電池含まず)
レシーバー：13.5g
電源：太陽電池（内蔵）、リチウム電池：CR2032X1個（内蔵）及び単3形乾電池X2本
電池寿命：単3形乾電池約1年（使用条件：過渡2時間/1日）
付属品：レシーバー、単3形乾電池X2本

PC入力モード (NumLock 非連動対応)

レシーバーと本体とのデジタル無線による接続を確立した状態で **[Fn]** キーを押し、PC入力モードにします。PC入力モード時は、本体のディスプレイ画面に「PC入力モード」と表示されます。また、入力した数字及び計算状態表示も画面に表示されるため、入力内容の確認が容易です。(計算結果は表示されません。)

【NumLock機能】

PC入力モードで **[Num]** を押すと、NumLock オン・オフの切替が出来ます。NumLock オン時には液晶に「Num」が表示され、数字 (0~9) やキーに対応するコード・+、=、/、*、/、%、(コンマ)、決定、BS、ESC、←、→、↑、↓ をパソコンに送信でき、数字の入力やカーソル移動が行えます。

NumLock オフ時には液晶に「Num」は表示されず、数字キーをカーソルキーとして使用することができ、簡単にウィンドウをスクロールさせることができます。(数字キーの右端に印刷されている機能: Home、End、PgUp、PgDn、Ins、Del、←、→、↑、↓ を使用することができます。)

※ 詳細は、右図をご参照ください。尚、PC入力モードで右図のキー以外の <NumLock オン時> <NumLock オフ時> キーを押しても無効となります。

※ NumLock オン時でも、パソコンの一部のキーがテンキーモードになることなく、アルファベット等の文字入力ができます (NumLock 非連動対応)。

<PC入力モードのキー入力>



注意

- ※ パソコンがスクリーンセーバーモードに入った時は、以下のキーを押してパソコンを通常の状態に復帰させることができます。(パソコンのスタンバイモードの解除はできません。)
- ・ 計算モード時: **[Fn]** キーを押すと、パソコンを通常の状態に復帰させることができます。
- ・ PC入力モード時: PC入力モード時に機能するキーがあれば、どのキーを押してもパソコンを通常の状態に復帰させることができます。
- ※ パソコンの入力設定が「かな入力」、入力モードが「ひらがな」の場合、「[]」が「[ほ]」「[な]」とかな文字が入力されます。この現象を防ぐには、入力モードを「英数モード」にてご使用ください。
- ※ PC入力モード時に、レシーバーがパソコンにしっかり接続されていないなどの問題があった場合、本体のディスプレイ画面がPCモードのままですが、データがパソコンに送信されません。右の手順に従い再度接続を確認してください。

動作環境

- OS
Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPの日本語版がインストールされていること
- パソコン
以下の条件を満たす IBM PC/AT 互換 (DOS/V) 機
- ① Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPの日本語版が動作可能で本体に USB ポートを装備しているもの
- ② 日本語キーボードを有しているもの
- ※ その他、Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP が推奨する動作環境に準拠。
- ※ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
- ※ Windows® 3.1/95/NT 上では動作しません。
- ※ 他の OS (Windows® 3.1/95/NT 等) から Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP にバージョンアップされたパソコンでの動作保証いたしません。
- ・ Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ IBM PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。

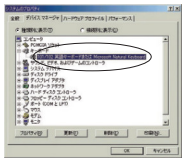
キーボードの入力がおかしい時には

Windows Me/2000/XP をご使用の場合、USB 接続の外部入力機器 (日本語キーボードやテンキー等) を接続すると、Windows Me/2000/XP が英語 101/102 キーボードと認識し、接続されている全てのキーボードが英語 101/102 キーボード配列で動作する場合があります。この場合デバイスマネージャーに表示されたデバイスの表示とドライバの内容が一致せず、**[@]** を押しと **[]** が入力されるといった問題が発生します。以下の手順にて正常に復帰させることが可能です。

※ OS によってはデバイスマネージャー上のキーボードが最初から英語キーボードになっている場合がありますが、日本語入力が問題なく行える (例: @ が正常に入力できる) 場合は、日本語キーボードに切り替える必要はありません。そのままご使用ください。

Windows Me の場合

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] の順に選択し、[システム] をダブルクリックします。
- 2 [デバイスマネージャー] タブを選択します。
- 3 [キーボード] アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。
- 7 [すべてのハードウェアを表示] ラジオボタンを選択し、[製造元] から (標準キーボード) を、[モデル] から現在お使いの日本語キーボード名を選択し [次へ] ボタンをクリックします。



- 8 [ドライバ更新の警告] 画面が表示されますので [はい] をクリックします。



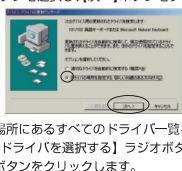
- 4 [ドライバ] タブを選択し、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。



- 9 [デバイスドライバの更新ウィザード] 画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。



- 5 [ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)] ラジオボタンを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



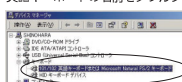
- 10 ドライバのインストール終了後、[完了] ボタンをクリックします。



- 11 手でコンピュータを再起動します。

Windows 2000 の場合

- 1 Administrators 権限を持ったユーザーで Windows をログオンします。
- 2 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] の順に選択し、[システム] をダブルクリックします。
- 3 [ハードウェア] タブを選択し、[デバイスマネージャー] ボタンをクリックします。
- 4 [キーボード] アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。
- 5 [ドライバ] タブを選択し、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。

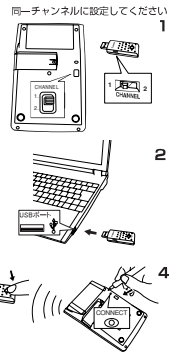


(右上へ続く)

パソコンとの接続方法

本体裏面に収納されているレシーバーをパソコンに接続し、下記の手順で本体との接続を確立させてください。

- 1 本体及びレシーバーの裏面にあるチャンネル (CHANNEL) を、同じ番号に設定します。
- 2 パソコンの USB ポートに、レシーバーを差し込みます。
※ 必ず、パソコン本体の USB ポートに差し込んでください。パソコン本体以外の USB ポートでは正常に動作しない場合があります。
- 3 接続後、USB ドライバのインストールを行います。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。
※ 使用するパソコン (OS) によっては、自動的に USB ドライバのインストールが行われます。
- 4 レシーバー上のライトが消えている状態で、レシーバー裏面の「connect」ボタンを押し、それから本体裏面の「Connect」ボタンを先端の細いもので押してください。レシーバー上のライトが点滅したら接続完了です (接続確立後、ライトは点灯状態となります)。



<接続の確認: レシーバー上のライトで接続状況が確認できます>

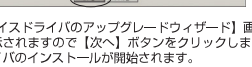
- ① 接続確立時 — ライト点滅後、点灯
- ② 接続中 — ライト点灯
- ③ データ受信中 — ライト点滅
- ※ 接続されていない状態ではライトはつきません。

注意

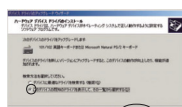
- ※ 接続作業は、必ず本体に乾電池を入れた状態で行ってください。
- ※ 通信等により本体とレシーバーの接続が確立できない場合は、本体及びレシーバーの裏面にあるチャンネルを、もう一方のチャンネルに切り替えて再度接続作業を行ってください。

Windows 2000 の場合 (続)

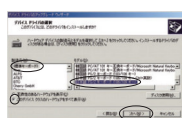
- 6 [次へ] ボタンをクリックします。
- 9 下の画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 10 [デバイスドライバのアップグレードウィザード] 画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。



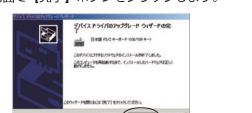
- 7 [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する] ラジオボタンを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



- 8 [このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示] ラジオボタンを選択し、[製造元] から (標準キーボード)、[モデル] から現在お使いの日本語キーボード名を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



- 11 下の画面で [完了] ボタンをクリックします。

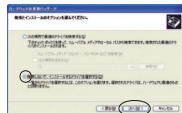
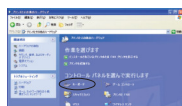


- 12 下の画面で [はい] ボタンをクリックします。コンピュータ再起動後、設定が有効になります。

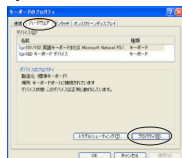


Windows XP の場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] の順にクリックします。
- 2 [コントロールパネルを選んで実行します] の [キーボード] をクリックします。
- 3 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイス] に表示されている英語キーボードの名前をクリックします。次に、[プロパティ] をクリックします。
- 6 [検索しないで、インストールするドライバを選択する] をクリックし、[次へ] をクリックします。
- 7 [互換性のあるハードウェアを表示] チェックボックスをオフにします。次に、[製造元] ボックスの一覧から [標準キーボード] をクリックし、[モデル] ボックスの一覧から現在お使いの日本語キーボード名をクリックします。そして [次へ] をクリックします。



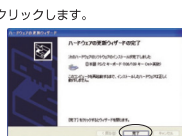
- 4 [ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] をクリックします。



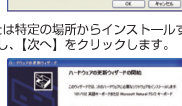
- ※ ご使用のモデルによっては、下記のメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は [はい] をクリックします。



- 8 [完了] をクリックします。



- 9 [閉じる] をクリックします。再起動する旨のメッセージが表示された場合、[はい] をクリックするとすぐにコンピュータを再起動します。



- 5 [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をクリックし、[次へ] をクリックします。

